



学校だより

令和6年3月1日
横浜市立太田小学校
3月号

じぶんが すき! たいせつ!

校長 丸山 稔

このところの厳しい寒の戻りが身に伝えますが、校庭では、菜の花、梅の花が咲き、一年振りに千葉の牧場から帰ってきたホープとモカの2頭のやぎたちが元気に若草を食べ、子どもたちは元気に走り回っています。予報では、このあと三寒四温で春めいてくると聞きました。暖かくなる日が待ち遠しいです。

年度末に差し掛かり、どの学年もこの一年の歩みを振り返って成長を確かめ、学習のまとめをする時期になりました。どの子ども、この一年で目覚ましく成長しました。

校長室では、19日に卒業を控えた6年生の子どもたちと最後のランチ・ミーティングをしています。太田小での思い出や太田小への思いを一人ひとりから聞くのは、とても楽しいひとときです。その中で一つ気付いたことがあります。今年の6年生は「誇り」という言葉をよく口にするのです。創立150周年記念の取組を推進する中で、歴史ある母校、各界で活躍する先輩、いつもずっと支えてくださっている地域の方々に誇りをもったということ。それから、式典などの記念行事で大役を果たした自分たちを誇りに思うことができたということが、大きいと思います。普段あまり多くを語らない子どもも、太田小のことや自分と友達の成長を語る表情には自信があふれています。

調査の結果にも表れているのですが、本校の子どもたちは、自尊心が高い子がとても多いです。これは、家庭、地域、学校で、子どもたちがどれだけ大切にされているかということと関係が深いと思います。大いに自慢したいところです。

自分を大切にすることができなくて、ほんとうの意味で他人を大切にすることができるのでしょうか。また、自分を見捨てない人が、困難を乗り越えて夢を実現させるのではないのでしょうか。自分を大切にできるということは、人が人として成長していくための大本の力と考えます。子どもの自尊心を高めることは、どの学校でも喫緊の課題です。

これからも、「自分が好き! 大切!」と素直に言える子どもたちが育っていくよう、家庭、地域と手を携えて子どもたちを大切に育てていきたいと思っています。



ピンクシャツデーに

最後になりましたが、本年度も保護者の

皆様、地域の皆様のご理解と多大なるご協

力により本校の教育活動を支えていただき、

真にありがとうございました。

